

お茶の京都DMO

Kyoto Infused with Tea



けいはんな記念公園



昔からある「永谷池」と南山城地域の里山を残した自然林「芽吹きの森」
周遊道約1.2kmはバリアフリーで1周できます。

観月橋(かんげつきょう)

水面上約10mに架かる歩廊橋(延長123m幅4m)。橋から庭園内を一望することができます。



お茶の京都

Discover
Premium
Green

News

第5号

2017.10.20発行

京都観光プロモーション会議参加

9月7日(木)・8日(金) 於:東京 都道府県会館



京都府と観光連盟が主催し、第25回目を迎える東京でのプロモーション会議に参加。

首都圏の旅行社8社51名が参加し、府側参加者と一緒に商談を行いました。

【旅行社からの主な意見】

- ・お茶の京都のエリアが分からない。お茶の京都での現地研修をしてほしい。
- ・京都市内が飽和状態なので、チャンスだと思う。

京都商工会議所女性会

お茶の京都視察ツアー実施 9月21日(木)



和東町石寺の茶畑をバックに全員で集合写真

京都商工会議所女性会によるお茶の京都バスツアーをDMOが実施。

38名の参加があり、和東町の茶畑景観、和東茶カフェ、萬福寺の普茶料理、匠の館のお茶体験、平等院の拝観をしていただきました。

当日は、DMOの脇社長、城福副社長(和東町のみ)が添乗し、現地では堀町長からごあいさつをいただきました。

ツーリズムEXPOジャパン2017 及び VISIT JAPANトラベル&MICEマート2017参加

9月21日(木)～24日(日)開催 於:東京ビックサイト



ツーリズムEXPOジャパン2017

日本観光振興協会、JATA、JNTOが主催するツーリズムEXPOジャパン2017に参加。ツーリズムEXPO全体では、海外旅行、国内旅行、訪日ランドオペレーターのパイヤー313社、セラー678社の参加がありました。

総来場者数は、一般来場者を含め、過去最高の191,500人を記録した、まさに世界最大級の旅の祭典です。

お茶の京都DMOでは、訪日旅行取扱会社12社とインバウンド商談会を実施しました。

【商談会での主な反応】

- ・お茶の京都でできるお茶摘みやお茶の淹れ方などの体験商品に対する関心が高い。
- ・大型バスが行けないところでの移動方法の工夫がほしいなどでした。
- また、PRブースでは、一般来場者向けにお茶の京都のPRを行いました。



VISIT JAPANトラベル&MICEマート2017

日本政府観光局(JNTO)が主催、観光庁が後援する日本最大のインバウンド商談会。海外からのバイヤーが32の国と地域から参加し、バイヤーの数は411社、海外メディアは17社にも上りました。

参加した国内のセラー数は、お茶の京都DMOも含め、513社となりました。

そのうち、お茶の京都DMOでは、12の国と地域の海外エージェント、メディア33社と商談会を行いました。

【商談会での主な反応】

- ・茶畑の景観、茶摘み体験、石臼体験などをパッケージに取り入れたいという声が多かった。
- ・ファムトリップの実施など、現地を視察したいという声や、モデルコースの提示を求める声も数社からありました。

乙訓大物産展PRブース出展

9月23日(土)開催



「竹の里・乙訓」と「もうひとつの京都(海、森、お茶)」を結ぶ、「大物産展+KARA-1グランプリ2017」が向日町競輪場で開催されました。

当日は、約10万人の来場者があり、激辛料理や地元特産品ブース、ステージショーも賑わいました。ステージでは、乙訓地域のキャンペーンガールに就任した吉本新喜劇座長の「すち子」さんが登場しました。

お茶の京都DMOでは、もうひとつの京都として、PRブースを設け、お茶の京都12市町村のパンフを配布し、PRを行いました。

DMO企画 秋のバスツアー募集開始

10月3日(火)から募集開始

- ◆ 石清水八幡宮うつ神楽舞台と松花堂庭園のタベ
出発日:11月4日(土) 1人7,800円
- ◆ 南山城の古寺・歴史散歩 1人11,800円
出発日:11月5日(日)/11月11日(土)
- ◆ 二大夜間拝観イベント 平等院と萬福寺 1人10,800円
出発日:11月23日(木・祝)/11月24日(金)/11月25日(土)
- ◆ やましろの朝市と国宝十一面観音立像の旅 1人4,000円
出発日:石臼挽き体験 11月1日(水)/11月2日(木)
世界のお茶体験 年11月6日(月)/11月7日(火)
- ◆ お茶の歴史と日本遺産を巡る旅
Aコース 出発日:11月18日(土) 1人9,800円
Bコース 出発日:11月25日(土) 1人6,800円

観光庁の水嶋次長がお茶の京都を視察

10月5日(木)



観光庁次長の水嶋 智氏がお茶の京都を視察されました。

同じく観光庁の観光産業課観光人材政策室主査の谷川陽子氏、観光資源課主査の南野宏夢氏が同行されました。



まず、和東町石寺の茶畑景観をご覧になり、和東町の馬場課長からの説明を受け、和東茶カフェでは、堀町長、京都府山城広域振興局の岡本局長が合流され、和東町、そしてお茶の京都全体の将来像などについて意見交換をされました。

その後、海住山寺を訪れ、佐脇貞憲住職(当DMO取締役)から国宝五重塔などの説明を受けられました。



お茶の京都DMO会議 観光・特産品部会開催

10月11日(水) 於:京都府田辺総合庁舎



お茶の京都DMOが実施する観光地域づくり事業について、専門分野毎に関係者の意見交換及び地元の合意形成を図るため、お茶の京都DMO会議の観光部会と特産品部会を合同で開催しました。部会には、12市町村観光商工担当課長、観光協会事務局長、商工会議所事務局長、商工会事務局長、京都府観光連盟事務局長、京都府観光政策課長、JA京都やましろ茶業部長等(代理含む。)いただきました。

会議では、まず日本版DMOの役割の基本、お茶の京都DMOがどのような事業を行っていくのかを確認しました。その後、今年度上半期の事業実績として、プロモーション、ツーリズムEXPOの参加報告や、物産展への出展募集方法のあり方、当面募集を行うイベントの説明を行い、意見交換に移りました。今後も継続的に部会を開催し、DMOとして地域の要望や課題を抽出し、広域的な視点で意見集約と合意形成を図って参ります。

その他トピックス

◆宇治茶まつり地元ガイドと巡るツアー実施

宇治観光ボランティアガイドクラブとの連携事業
10月1日(日) 13名参加

◆月刊旅行読売記事掲載

11月号のお茶の京都を巡る旅のテーマで、周遊タクシープランや宇治茶博のイベントの紹介記事を掲載

◆京都リビング新聞社記事掲載

10月14日付けリビング京都(西南、東南、中央、北摂)にお茶の京都博エリアイベントとDMO企画の秋のバスツアー募集記事を掲載

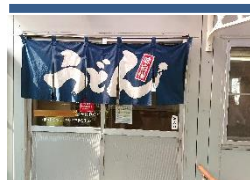
お茶の京都 DMO (一般社団法人京都山城地域振興社)

〒611-0021京都府宇治市宇治乙方7-8 京阪宇治駅ビル2F

電話:0774-25-3239 FAX:0774-25-3238

E-mail : dmo@ochanokyoto.jp URL <http://ochanokyoto.jp>

DMO 社長	脇 博一
副社長	城福 健陽
監理部長	上岡 和弘
監理部次長兼企画部長	川瀬 章治
事業部長	佐藤 裕
事業部長	鳥井 雅史
事業部長	大矢 光彦
事務員	山崎 香織



西京うどん
イチオシ
(DMO職員)

井手町玉ノ井にあるうどんの「たなか家」

たなか家のうどんを求めて来るリピーターは多数!
ぶっかけうどんが一番人気。なるほど、これはおいしい。
眺めの良い席もあります。

お茶の京都博開催中

年間を通じて各種イベントが開催されます。

<http://ochahaku.kyoto/>